

2024年1月19日

米国で車載用電池向け角型セルケース及びセルカバー製造の合併会社を設立

富士発條株式会社（以下：富士発條）が出資する米国子会社 Fujihatsu Tech America, Inc.（フジハツ・テック・アメリカ）は、豊田通商株式会社の米国現地法人 Toyota Tsusho America Inc.（豊田通商アメリカ）と共に、車載用電池向けの角型アルミセルケース及び排出弁付きセルカバーの製造・販売会社 FUJIHATSU & TOYOTSU Battery Components, North Carolina LLC（フジハツ・アンド・トヨツウ・バッテリー・コンポーネンツ・ノースカロライナ、以下：FTBC）を、2023年7月に設立しました。出資比率は、フジハツ・テック・アメリカが60%、豊田通商アメリカが40%です。

1. 背景

ハイブリッド自動車（HEV）や電気自動車（BEV）などの電動車の普及に伴い、車載用電池の需要は今後も増加が見込まれています。車載用電池にはセルの形状により、角型、円筒型、ラミネート型（パウチ型）の3種類がありますが、現在米国における車載用電池メーカーでは、円筒型やラミネート型の製造が主流です。そのような状況下、角型電池用のアルミセルケースについては、製造実績のあるサプライヤーが不在の状況となっています。

2. 新会社（FTBC）の概要

FTBC は、HEV 用リチウムイオン電池向けの角型アルミセルケース及びガス排出弁付きセルカバーの製造工場を建設し、安定供給を目指します。2024年2月に設備導入を完了、2025年1月に量産を開始し、生産量は270万セル/月（2026年1月以降は、360万セル/月）の計画です。今後はBEV用リチウムイオン電池向け角型アルミセルケース及びガス排出弁付きセルカバーの製造にも取り組む予定です。

富士発條は、日本における角型アルミセルケース及びセルカバーのシェアではトップクラスの実績があります。これまで培った製造技術やノウハウを活かし、技術面を担います。豊田通商は、商社としての営業・調達機能やグローバルネットワークを活かし、管理運営を支援します。

FTBC は、角型アルミセルケース及びセルカバーの安定供給を通して車載用電池のサプライチェーンを支え、さらなる電動車の普及とカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

[HEV 用角型アルミセルケース及び排出弁付きセルカバー]



News Release



【FTBC 概要】

会社名	FUJIHATSU & TOYOTSU Battery Components, North Carolina LLC (フジハツ・アンド・トヨツウ・バッテリー・コンポーネンツ・ノースカロライナ)
所在地	ノースカロライナ州グリーンズボロ
設立	2023年7月
代表者	社長 段 則之
出資	FUJIHATSU TECH AMERICA, INC. (フジハツ テック アメリカ) 60%、 Toyota Tsusho America (豊田通商アメリカ) 40%
操業開始	2024年3月 (予定)
従業員数	2026年までに約60人を見込む (稼働時の従業員数は、今後あらためて公表させていただく)
事業内容	車載電池用アルミセルケース及びセルカバーの製造・販売
建屋面積	約3,367㎡

【本件の問合せ先】

富士発條株式会社 経営管理本部 Tel : 079-674-1600